原子炉建屋

## フィルタ付ベント設備に関する工事の進捗状況

- 〇万一、炉心が損傷し格納容器内の圧力が大幅に上昇した際に、格納容器の破損を防止するとともに、放射性物質の放出量 を大幅に低減することを目的として、フィルタ付ベント設備の設置を進めています。
- 〇フィルタベント設備の設置工事としては、主に、微粒子フィルタおよびよう素フィルタの製作・設置、また、フィルタと排気筒を繋ぐ配管の設置を実施します。
- ○大飯3,4号機については、平成24年8月にフィルタの仕様を決定、発注を実施し、現在、フィルタおよび配管ルートの詳細設計を実施するとともに、よう素フィルタを設置するための基礎部の工事を実施しています。また、高浜3,4号機についても同様に、平成25年6月にフィルタの仕様を決定、発注を実施し、現在、詳細設計を実施するとともに、よう素フィルタ基礎部の工事を実施しています。

## フィルタベント設備の仕様(大飯3,4号機)

- ○2種類のフィルタで放射性物質の放出量を大幅に低減
- ・微粒子フィルタ: セシウム等の粒子状の放射性物質を捕捉・低減
- (高さ:約1.9m、幅:約1.5m、奥行:約2.4m、重さ:約3トン/基、

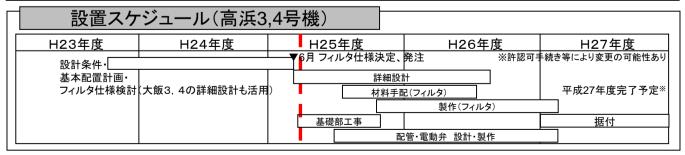
材質:ステンレス製金属メッシュ、3基/1プラント)

・よう素フィルタ:よう素を捕捉・低減

(高さ:約2.3m、幅:約1.4m、奥行:約5.5m、重さ:約10トン/基、

材質:銀付与ゼオライト、2基/1プラント)





## 基礎部工事

排気筒

FL.39.0m

アニュラス

微粒子フィルタ

EL.44.7m



よう素フィルタを設置するための架台を支えるアンカーの打設を実施